

花粉症対策の取組状況

「花粉症対策初期集中対応パッケージ」の着実な実行に向けて、スギ人工林の伐採・植替え、花粉の少ない苗木を生産するための施設やスギ材需要の拡大を図るための製材工場等の整備等を推進。

■ スギ人工林の伐採・植替え等



伐採・植替え箇所（滋賀県）

【スギ人工林伐採重点区域の事業実施状況】

- 条件が不利な森林等の伐採・植替えの活動を支援。
- 伐採・植替えの基盤整備として路網整備を支援。

■ スギ材需要の拡大



スギ材を加工する機械の導入

- 製材工場、集成材工場等の整備を支援
- 住宅分野でのスギJAS構造材等の利用促進
- スギ材活用に向けた技術開発
- 建築物等へのスギ材利用の機運の醸成を促進する取組を支援

■ 花粉の少ない苗木の生産拡大



原種苗木

- 採種園・採穂園の造成に必要な「原種苗木」を増産する施設の整備が令和6年度に完了し、増産を開始。

〈(国研)森林研究・整備機構〉

原種苗木の配布

- 苗木生産に必要な種子や穂木を生産する採種園・採穂園を整備。

〈都道府県等〉



種穂の増産

- 苗木生産に必要な種子や穂木を生産する採種園・採穂園を整備。

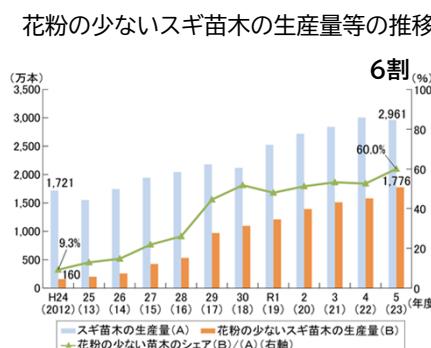
〈都道府県等〉



種子や穂木の供給

- コンテナ苗生産施設を整備。

〈苗木生産事業者〉



■ 林業の生産性向上及び労働力の確保



- 伐採・植替えの加速化に向け、
 - ✓ 林業機械の導入を支援。
 - ✓ 他地域や他産業との連携による労働力の確保について支援。

■ スギ花粉の飛散対策



薬剤の空中散布試験 (栃木県)

- 空中散布試験、環境影響調査。
- シドウイア菌、トリオレイン酸ソルビタン、トリネキサパックエチルを用いた飛散防止剤の農薬登録申請に向けたデータ収集を実施。

■ 発生源対策による花粉抑制効果の把握

- 人手に頼っている花粉関連調査に関し、ドローン等を活用した雄花の着花量調査の開発、画像解析による花粉飛散量の測定手法の開発を推進。
- 花粉データ取得の高度化を図ることを通じ、林野庁・環境省で発生源対策の効果を把握。

75 花粉症解決に向けた緊急総合対策 <一部公共>

令和7年度補正予算額 5,614百万円

<対策のポイント>

「花粉症対策初期集中対応パッケージ」の着実な実行に向けて、スギ人工林の伐採・植替え等の加速化やスギ材の需要拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、花粉の飛散量の予測、花粉の飛散防止、スギ花粉米の安全性・有効性の検証等の総合的な対策を推進します。

<事業目標>

スギ花粉の発生量の削減（令和2年度比 約2割削減 [令和15年度まで]、5割削減 [令和35年度まで]）

<事業の内容>

1. 花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策

5,564百万円

① スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

スギ人工林伐採重点区域における、伐採・植替えに寄与する路網整備や伐採・植替えの一貫作業、森林所有者への働きかけ支援による森林の集約化を支援します。

② スギ材の需要拡大

住宅分野におけるスギJAS構造材等の利用促進、スギ材の活用に向けた技術開発、集成材工場や保管施設等の整備、建築物等へのスギ材利用の機運の醸成を支援します。

③ 花粉の少ない苗木の生産拡大

官民を挙げた苗木増産体制の強化、細胞増殖技術を活用した苗木大量増産技術の開発、花粉の少ない苗木の広域流通等を支援します。

④ 林業の生産性向上及び労働力の確保

意欲ある木材加工業者等に対する先進的な林業機械の導入等を支援します。

⑤ 花粉飛散量の予測・飛散防止

花粉飛散予測に向けた森林資源情報の高度化、スギ花粉の飛散防止剤の実証試験・環境影響調査の実施を支援し、社会実装を加速化します。

(関連事業) 林業・木材産業国際競争力強化総合対策 <一部公共>

44,993百万円の内数

2. スギ花粉米の実用化に向けた安全性・有効性の検証

50百万円

実用化に向けた作用機序の解明、安全性・有効性のデータの取得等を進めます。

<事業の流れ>

定額、1/2、委託

民間団体等

(1②、③、⑤の事業の一部、2の事業)

定額、1/2

都道府県

(1③の事業の一部)

定額、1/2等

都道府県等

定額、1/2等

民間団体等

(1①及び④の事業、
1②及び③の事業の一部)

※ 国有林においては、直轄で実施

[お問い合わせ先]

発生源対策

スギ人工林の伐採・植替え等の加速化

スギ人工林伐採重点区域において
・伐採・植替えの一貫作業と路網整備を推進
・森林所有者への働きかけ支援による
森林の集約化の促進



<路網の整備>



<再造林>

スギ材需要の拡大

・住宅分野におけるスギJAS構造材等の利用促進
・スギ材活用に向けた技術開発
・集成材工場、保管施設等の整備
・建築物等へのスギ材利用の機運の醸成 <スギJAS集成材>



花粉の少ない苗木の生産拡大

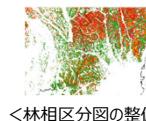
・森林研究・整備機構による原種苗木増産
・都道府県による種穗増産
・民間事業者による苗木生産施設及び生産体制の強化
・細胞増殖による苗木大量増産技術の開発
・苗木の生産量が多い産地から少ない地域への供給の促進
・原種増産技術の開発等



飛散対策

スギ花粉飛散量の予測

・花粉飛散予測に向けた
森林資源情報の高度化を推進



<林相区分図の整備>

スギ花粉の飛散防止

・森林現場でスギ花粉の
飛散防止剤の実証試験・
環境影響調査を支援



<花粉飛散防止剤により枯死した雄花>

発症・曝露対策

スギ花粉米の実用化に向けた安全性・有効性の検証

・スギ花粉米（※）の実用化に向けた作用機序の解明、理論を裏付ける安全性・有効性のデータの取得 等



※構造を変更したスギ花粉症の原因物質をコメに蓄積させ、免疫寛容を誘導する新しい治療法

1の事業 林野庁森林利用課 (03-3501-3845)

2の事業 農林水産技術会議事務局研究開発官室
(基礎・基盤、環境) (03-3502-0536) 2

＜対策のポイント＞

林野庁が実施する花粉症対策の普及啓発等を進めるとともに、花粉の飛散量の予測に資するためのスギ雄花の花芽調査等を実施します。

＜事業目標＞

- スギ苗木の年間生産量に占める花粉の少ない苗木の割合の増加（約5割 [令和3年度] → 9割以上 [令和15年度まで]）
- スギ花粉の発生量の削減（令和2年度比約2割削減 [令和15年度まで]、約5割削減 [令和35年度まで]）

＜事業の内容＞

1. 効果的な花粉発生源対策の実施に向けた普及及び調査

花粉発生源対策に係る国や都道府県等の取組の成果を普及するとともに、花粉発生源対策をより効果的に実施するために必要な因子の抽出・分析手法の検討等を支援します。

2. スギ雄花花芽調査等の推進

花粉飛散予測に資するスギ雄花花芽調査のためにスギ雄花の着花状況等を調査するとともに、ドローンの活用等による効率的かつ高精度な着花量推定手法の開発を支援します。

（関連事業）

（R7年度補正予算）花粉の少ない森林への転換促進緊急総合対策

5,564百万円

「花粉症対策初期集中対応パッケージ」の着実な実行に向けて、スギ人工林の伐採・植替え等の加速化やスギ材需要の拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大等の総合的な対策を緊急に支援します。

＜事業の流れ＞

定額

国



民間団体等

＜事業イメージ＞

1. 効果的な花粉発生源対策の実施に向けた普及及び調査



- ・国や都道府県等の取組の成果を普及

・植替えを促進すべき森林の「見える化」のイメージ

林業事業体、森林所有者等への理解の醸成

2. スギ雄花花芽調査等の推進

- ・スギ雄花の着花状況等の調査
- ・ドローンの活用等による効率的かつ高精度な着花量推定手法の開発

